

## 横浜市立大学のダイバーシティの取組み 第3弾 教職員が働きやすい環境づくりを促進するため 県内大学初となる「イクボス宣言」を行いました。

横浜市立大学では、男女ともに働きやすく、意欲や能力が発揮できる職場づくりを目指し、平成 28 年 6 月 16 日（木）に、神奈川県内の大学に先駆け「イクボス宣言」を行いました。

イクボス宣言終了後には、仕事と家庭の両立支援や働き方の変革を推進するため、教職員対象のダイバーシティマネジメントセミナーを実施しました（裏面参照）。

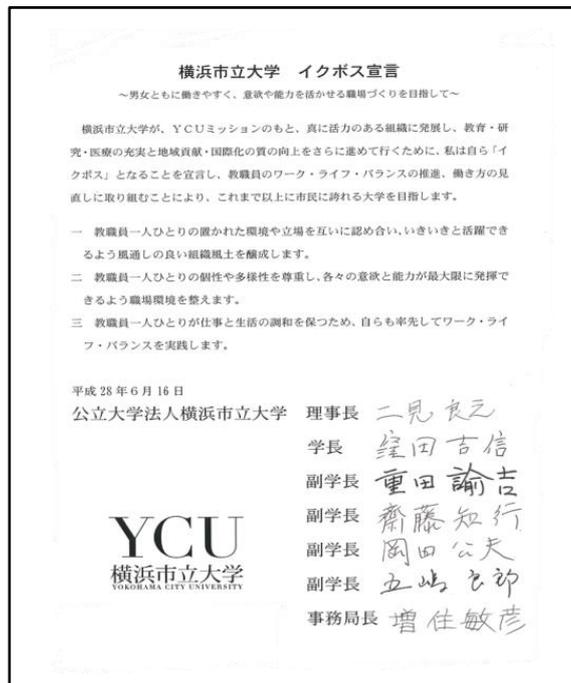
### 【概要】

本学では、男性職員の育児休業取得率が 2.4%（平成 26 年度実績）と低いことなど職場全体で仕事と生活の両立を支えることのできる環境を整備する必要があることから、全ての教職員が意欲と能力を十分に発揮し、男女ともに安心して働くことができる職場づくりを目指し、「女性の活躍推進に関する行動計画」や「ワーク・ライフ・バランス行動計画」を策定しています。

今年度は意識啓発や取組促進の一環として「イクボス宣言」を行い、平成 31 年度までに男性職員の育児休業取得率 10%を目指すなど、組織全体でダイバーシティへの取組みを推進します。



左から五嶋副学長、岡田副学長、齋藤副学長、二見理事長、  
NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事 塚越氏、増住事務局長



### 【イクボス宣言後の主な取組み内容】

#### ○教職員管理職 263 名による「イクボス行動宣言」

各管理職が「イクボス行動宣言」を行い、率先してワーク・ライフ・バランス推進に取り組みます。

- ・教職員が男女ともに育児や教育などの子育てに時間を使うことに理解を示し、そのための時間を取りやすいよう配慮する
- ・教職員一人ひとりの家庭環境にも配慮した働き方を尊重し、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた職場全体の環境づくり

#### ○夏季一斉休業の実施

夏季休暇と年次有給休暇を組み合わせた連続休暇の取得の奨励を図るため、8 月 15 日・16 日を夏季一斉休業とします（病院及び一部学科を除く）。

裏面あり

## 参考

### 【イクボス宣言・ダイバーシティマネジメントセミナー（6月16日実施、129名参加）】



イクボス宣言を行う二見理事長

#### 二見 良之（ふたみ よしゆき）理事長のコメント

女性の活躍推進に加え、男女ともに働きやすく、働きがいのある職場を目指すことが、本学のイクボス宣言の特徴です。互いに労わりあい、生きがいをもって働ける風土をつくるのが職場活性化にもつながります。教職員一丸となって、これまで以上に市民や学生に誇れる大学を目指していきましょう。

4つのキャンパス、2つの病院をテレビ会議システムで結び、NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事塚越学氏を講師に招いて、セミナーを実施しました。セミナーでは、ペアワークを交えながら、ワーク・ライフ・バランスを推進する職場づくりや、イクボスの職場マネジメントについて学びました。今後は、法人のイクボス宣言を受けて、教職員管理職 263 名による「イクボス行動宣言」を実施する予定です。



#### 【女性の活躍推進に関わる行動計画】

男女ともに働きやすく、働きがいのある職場づくりに向けて、全ての教職員が意欲と能力を十分に発揮し、職場全体で仕事と生活の両立を支えることのできる環境整備を行う行動計画を策定しています。

#### 【ワーク・ライフ・バランス行動計画】

健康で安心して働ける職場環境の整備に向けて、介護を行う教職員の支援や、超勤縮減、休暇取得促進などによる働き方の見直しを行う行動計画を策定しています。

各行動計画の具体的な数値目標等は、本学のウェブサイトに掲載しています。

※各行動計画掲載先リンク：<http://www.yokohama-cu.ac.jp/univ/corp/160401actionplan.html>